

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業  
MSM の HIV 感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究

東北地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

分担研究者：伊藤俊広（独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 医長）

研究協力者：太田貴、高橋幸二（やろっこ）、小浜耕治（東北 HIV コミュニケーションズ）、佐藤功、塚本琢也、鈴木智子、中村恵、佐々木晃子、伊藤ひとみ（独立行政法人国立病院機構仙台医療センター）、塩野徳史、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

仙台市繁華街のドロップイン施設（community center ZEL：2010 年 3 月開設）が 2013 年度も活動拠点となり、昨年同様感染拡大抑制のための企画立案・実施・評価研究がなされた。東日本大震災（2011.3.11）から 3 年目となり仙台市への人口流入が続いている。感染機会の増加から HIV 感染拡大が懸念されるが、現在のところその兆候はみられていない。ZEL 来館者は本年 12 月時点で昨年度同時期と比べ総数、新規とも増加している。ZEL の周知も考慮したフリーペーパーや、コンドーム使用を呼びかけるポスター・カードの作成配布、種々のイベント・バレーボール大会などを介して啓発活動が行われ、コミュニティネットワークを用いた MSM を対象とする性の健康、HIV/AIDS 感染予防行動に関する質問紙調査 GCQ アンケート により評価された。仙台市保健所検査受検者における MSM の割合が漸増しているだけでなく、仙台市 HIV 即日検査会においても MSM の割合が著増しており community center ZEL の 活動による成果と考えられる。

東北においては、2013 年度 9 月の時点で昨年度同時期と比べ 29 名の新規感染者が報告された。幸運なことに爆発的な増加のきざしはないが、「いきなり AIDS 率」は相変わらず高値で 47%であった。AIDS 発症率を低下させるためには性感染症（梅毒、B 型肝炎、クラミジア etc.）を意識して検査アプローチを図ることが重要であるが、それだけでなくあらゆる機会をとらえて抗体検査を実施していく必要がある。感染拡大を抑制していくには抗体検査の実施機会を増やし、早期診断を促し早期に治療をおこなうことにより 2 次感染を抑える必要がある。

A. 研究目的

HIV 感染症の拡大を抑止するためには MSM に対する積極的なアプローチが必要である。効果的な HIV 感染予防対策のため、MSM を対象に種々の企画を立案・実施し、さらにその評価を的確に行うための体制整備に関して研究を行う。東北地域における研究について分担した。

B. 研究方法

最終年度（3 年目）である 2013 年度も「仙台医療センター」1993 年より HIV に関わる

活動をしている NPO「東北 HIV コミュニケーションズ（THC）」、ゲイコミュニティ向けの HIV 啓発チーム「やろっこ」の三者を中心として、行政、医療、福祉、コミュニティ等と協働して東北地方における男性同性間の HIV 感染対策（下記 1～4 の事項）について、介入、企画実施、調査・研究を行なった。特に 3. のゲイコミュニティへの啓発活動として、community center ZEL の運営、啓発資料の作成・配布、HIV を身近に感じるためのイベントの開催、ゲイコミュニティを対象としたアンケート調査を行った。また、本年度も保健

所の HIV 抗体検査受検者を対象にした質問紙調査を行い、検査受検者の特徴や差異を把握した。

1. 医療者への積極的な HIV 検査の勧め
2. 仙台医療センターの HIV 感染者における重複性感染症 (STD) の解析
3. ゲイコミュニティへの啓発活動
4. MSM における行動科学調査及び介入評価研究

### C. 研究結果

東北ブロックにおける HIV 感染者・AIDS 患者の累積数は 2013 年 9 月時点で 495 名と報告され、2012 年同時期と比べ 29 名増加した(図 1)。

仙台医療センターの受診者の内訳(2013.12 月末まで)をみると(図 2)、本年度も感染経路別頻度に変化はみられず、東北においても依然として MSM 対象の介入研究は重要である。初診 HIV 患者数は 17 人でこのうち新規感染者は 10 名 (AIDS:3 例) であった。

図 1. 東北県別エイズ/HIV感染者累積数推移 (非血友病): 総計495人(H25.9月)

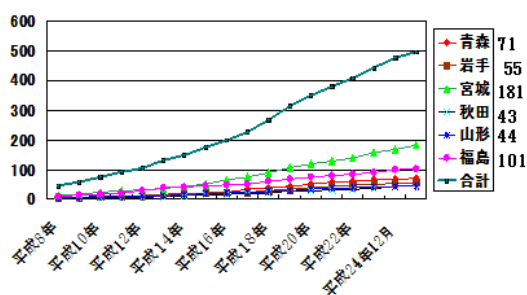
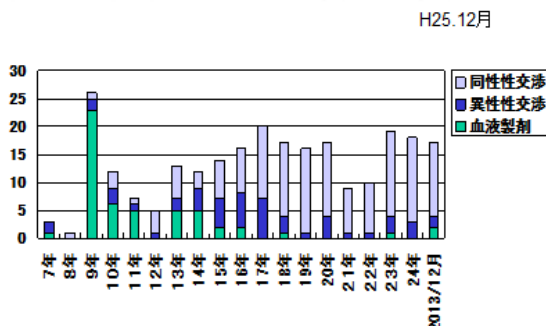


図 2. 仙台医療センター新患者数推移 (総計252人(血液53、同性148、異性51、女性23) H25.12月)



### 1. 医療者への積極的な HIV 検査の勧め

HIV 感染症は性感染症 (sexually transmitted disease:STD) であることから種々の STD の診断を HIV 抗体検査の機会ととらえ検査件数の増加を促し、早期診断に結び付けることができる。

以下に記す種々の研修会・会議を通して医療従事者に対して積極的な HIV 検査の必要性について情報提供するとともに、行政とも連携し抗体迅速検査も実践した。

#### 1) ブロック拠点・中核拠点・拠点病院連携(医師・歯科医師・看護師・薬剤師対象)

東北エイズ/HIV 看護研修 (H25.10.1: 仙台、27 名参加)、東北エイズ歯科診療協議会・連絡会議 (H25.3.2: 仙台 35 名参加、H26.2.8: 仙台 35 名)、東北ブロック・エイズ拠点病院等連絡会議 (H25.1.16 仙台 68 名参加、H25.6.25: 山形、45 名参加、H26.1.15: 仙台 81 名参加)、講演: 「HIV/AIDS 診療の現況～特に非 AIDS 合併症について～」ACC 矢崎博久医師、「HIV 感染症病棟における病棟常駐活動」ACC 薬剤師増田純一子、発表: (山形県の取り組み)イ) 山形県行政、ロ) 山形大学病院、ハ) 山形県立中央病院、東北エイズ/HIV 拠点病院等薬剤師連絡会議 (H25.10.19: 仙台、49 名参加)、東北エイズ臨床カンファレンス (H25.2.16: 仙台、57 名参加、): 講演: 「Aging/HAND/New Drug 等を含めた長期治療マネジメント」大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター長、白阪琢磨、「抗 HIV 薬の簡易懸濁法/日和見感染症治療薬等との相互作用について」大阪医療センター薬剤師矢倉裕輝、同カンファレンス (H26.2.9: 仙台、約 40 名参加): 講演: 「HIV/AIDS 最新のトピックス」横浜市立市民病院感染症内科科長、立川夏夫、「HIV/AIDS 診療における薬剤師の役割とは」東京医科大学病院薬剤科、関根祐介、東北 HIV ネットワーク会議 (H25.2.16: 仙台、13 名出席、H26.2.9: 仙台、10 名出席)、宮城県歯科医師会 HIV 研修 (H25.2.23、11.16 仙台歯科医師会館)、東北

エイズ中核拠点病院歯科連絡会議 (H25.11.16 仙台 6 名参加) HIV/AIDS 臨床検討会 (ACC/東北大学/仙台医療センター症例、H25.3.20、仙台医療センター、9.14 東北大学病院) 宮城県 HIV/AIDS 学術講演会 (H25.8.31: 仙台、70 名参加、講演:「日本の HIV 感染者の現状」東京医科大学病院講師、山元泰之)

## 2) 心理・MSW 連携

東北エイズ・HIV 拠点病院等心理・福祉職連絡会議 (H25.10.19: 仙台、21 名参加) HIV 感染者の拳児希望にかかるカウンセリング体制整備会議 (H25.8.3、東京)

## 3) 行政連携

HIV 迅速検査会 (仙台市主催) (H25.6.1、12.7: 仙台、受検者 130 名 x2) 仙台市エイズ・性感染症対策推進協議会 (仙台市主催) (H25.2.1、H26.3 予定、仙台) 仙台医療センター健康まつり即日検査会 (H25.11.2: 仙台、30 名受検)

## 4) 介護福祉連携

AIDS/HIV 感染症出張セミナー (介護保険施設、岩沼市、約 40 名参加) H25 年度 HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療、介護環境整備事業実地研修 (仙台医療センター、H26.1.27~1.31、2 名受け入れ)

## 5) 啓発・教育

岩手県の高校生、大学生を対象に講義 (LAS 実地研修、仙台医療センター、H25.10.12) 院内新人オリエンテーション (H25.4.4、仙台医療センター)、山形病院附属看護学校講義 (H25.8.27)

## 6) その他 (別主催研修/会議出席、講演など)

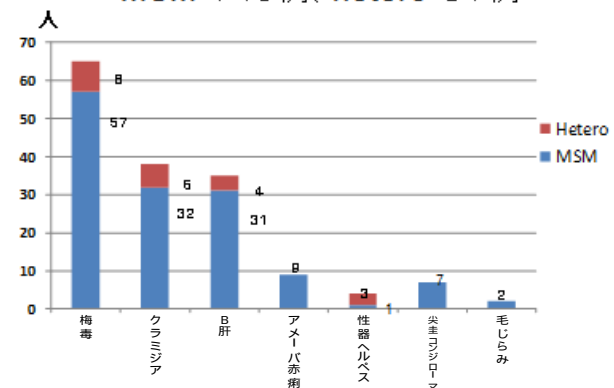
ACC 看護研修 (H26.1.23~24、ACC) ACC/ブロック拠点病院看護管理者会議 (H25.6.7、ACC) ACC/ブロック拠点病院実務担当者フォローアップ研修 (H25.6.8、ACC)、ACC/ブロッ

ク拠点病院実務担当者会議 (H25.3.9、ACC) 全国中核拠点病院連絡調整員会議 (H25.3.9、ACC) 2013 AIDS 文化フォーラム in 横浜 (H25.8.5、横浜) HIV/AIDS ブロック拠点病院薬剤師連絡会 (H25.5.24、東京) 第 51 回抗 HIV 薬服薬指導のための研修会 (H25.8.24~25、広島)、第 23 回日本医療薬学会 (H25.9.22、仙台) etc.

## 2. 仙台医療センターの HIV 感染者における重複 STD の解析

重複 STD の解析 (図 3) では、MSM における STD 重複感染率 (特に梅毒、クラミジア、B 型肝炎) は非常に高い。

図 3. HIV/STD 重複感染 (2013.12 月) MSM 148 例、hetero 51 例



## 3. ゲイコミュニティへの啓発活動

MSM を対象とした community center ZEL (以下、ZEL) は、2010 年 3 月 20 日に仙台の繁華街である国分町に開設され、仙台で MSM を対象に HIV の情報を届けるボランティアグループ「やろっこ」が運営を担っている。2010 年度には、1,311 名、2011 年度 1,896 名、2012 年度 1,681 名の来場者があり、仙台を中心とするゲイコミュニティに対し HIV に関する情報提供を行ってきた。

2013 年度の来館者は 12 月末現在、1,422 名。2012 年度の同期間 (1,332 名) と比べ 107% と増加している。新規来館者数は 12 月末現在 107 名で、こちらも 2012 年度の同期間 (81 名) と比べ 132% と増加している。

2013 年度は、ZEL の周知促進のため、イラ

スト展など集客力のある企画を行ったため、来場者総数、新規来場者数が増加したと考えられる。

2013年度においてもZELでは、HIVに関連した冊子やコンドームを配布することに加え、様々なイベント等を通してHIVに関する情報提供を行った。震災後、宮城県、特に仙台市では、復興需要から流入人口が増加していることから、転入者を対象にZELの周知とHIVの情報提供を行う「仙台デビュー」を年4回実施。のべ33名の参加があった(図4、5)。

啓発資材の配布としては、2012年度に引き続き、2013年度も仙台市エイズ即日検査会のMSM向け広報資材(ポスターとカード)をゲイバーなど、MSM向けの商業施設に配布し、HIV検査の啓発を行った(図6)。

図4.

community center ZELのプログラム



・仙台デビュー

新規来館者獲得のための友達づくりイベント  
対象: 仙台で新生活を始めるMSM、ネット利用層・コミュニティ非利用層のMSM  
年4回実施(4/27 12名、7/13 7名、10/12 8名、1/25予定)

・R-35 35歳からのGAY LIFE

中高年層の来館促進と中高年層のセクシャルヘルス向上を目的としたイベント  
対象: 35歳以上の中高年ゲイ男性  
年2回実施(5/18 11名、2月予定)

・HIV陽性者と語ろう

HIV陽性者の話を聞くイベント。HIV陽性者の現状等の情報提供を行う。  
対象: HIV/AIDSに関心のある人、HIV陽性者が身の回りにいない人など  
年2回実施→年1回実施(8/10 10名)

・その他

新規来館者獲得のためのイラスト展、作品展などを実施(5月、8月、9月、12月)

図5.

年間活動と来場者数

月日	イベント等	人数	月日	イベント等	人数
4/27	仙台デビュー	12	9/21	クラブイベント(アウトリーチ)	55
4/28	フリーペーパー vol.17発行		9/22-30	ケツ割れ展 RETURNS	62
5/4	バレー大会(アウトリーチ)	150	9/30	HIV検査担当者研修	15
5/4	クラブイベント(アウトリーチ)	86	10/12	仙台デビュー秋	8
5/18	R-35 35歳からのGAY LIFE	11	10/26	バレー大会(アウトリーチ)	150
5/31-6/11	めもんたいこイラスト展	76	10/28	フリーペーパー vol.19発行	
6/1	仙台市エイズ即日検査会	20/71	11/30	Living Together in SENDAI	57
7/13	仙台デビュー夏	7	12/2-17	SUVイラスト展	
7/28	フリーペーパー vol.18発行		12/7	仙台市エイズ即日検査会	
7/28	コンドーム使用ポスター配布		1/25	仙台デビュー冬	
8/9-27	ケツ割れ展	112	1/28	フリーペーパー vol.20発行	
8/10	Living Together in SENDAI	67	2/15	R-35 35歳からのGAY LIFE	
8/10	HIV陽性者と語ろう	10	3/20	ZEL活動報告会	

図6. コンドーム使用を呼びかけるポスター・カードの作成・配布

そろそろ「どいあえず生」を卒業しよう。

その場の雰囲気や相手に流されて  
コンドームを使わない「生」を選択している  
MSMへ、コンドーム使用を呼びかける  
メッセージを掲載したポスター。  
【作成数】ポスターA3版 40部  
カードA6版 1,000部



【配布時期】ポスター 7月下旬～配布開始 カード 10月下旬～配布開始  
【配布先】

東北地域のMSM向け商業施設(31軒)、クラブイベント、バレー大会  
全国のcommunity center等  
※community center ZELフリーペーパーvol.18(7月下旬発行、部数1,200部)でも  
同じ内容の特集記事を掲載。

仙台市のHIV検査については、ZELが2010年の開館以来定期的に発行しているフリーペーパー(2013年度は年4回発行)にも情報を掲載し、HIV検査の受検促進をはかってきた。

仙台市のHIV抗体検査受検者に占めるMSMの割合は、通常検査、即日検査会とも増加傾向にあった(表1、2)。宮城県内6保健所で実施したHIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査では、受検中のMSM割合が2012年10.4%から2013年12.3%と増加が見られた。またMSM受検者はCBO・やろっこの啓発資材等の認知が40.7%、首都圏で構築されたゲイ向けサイト「HIVマップ」の認知率も11.9%と高く、他の受検者層と有意差が見られ、MSMに訴求していることが示された(付表2)。MSM受検者のCBOの活動や啓発資材認知別の差異については付表3に示した。

表1 仙台市HIV抗体検査の受検者に占めるMSM割合の推移

2008	2009	2010	2011	2012
4.5%	5.0%	5.8%	7.5%	10.1%

表2 仙台市エイズ即日検査会の受検者に占めるMSMの割合

2010 12月	2011 12月	2012 6月	2012 12月	2013 6月
10%	15%	9%	19%	28%



また、新たに、岩手県の保健所で実施されているHIV検査のMSM向け広報資材(ポスターとカード)を作成し、盛岡市内のMSM向け商業施設に配布を行い、盛岡市保健所のHIV検査広報資材の配布にも協力した(図7)。

図7. HIV抗体検査受検促進のためのMSM向け資材作成・配布

- 仙台市HIV検査会**(6/1および12/7)  
 カード-500~700部/1回 ポスター-30~50部/1回  
**【配布時期】**  
 1回目:5月~配布開始(6/1検査会告知)  
 2回目:9月~配布開始(12/7検査会告知)  
**【配布先】**  
 仙台市内のMSM向け商業施設(14~15軒)  
 クラブイベント バレー大会  
 仙台市内の保健所 等
- 岩手県の保健所検査**  
 カード500部 ポスター-30部  
**【配布時期】**10月~配布開始  
**【配布先】**  
 岩手 MSM向け商業施設(5軒)  
 community center ZEL



仙台市内のゲイバー・ハッテン場への定期的なコンドーム配布に加え、秋田市内のゲイバー1軒でもコンドーム配布を開始した。4月から12月までの9ヶ月間でゲイバーとハッテン場の計16軒で、3,900個を配布した(図8)。

今年度はコンドームの配布に加え、コンドームの使用を促すための資材(ポスターとカード)を作成、7月末より東北全域のMSM向け商業施設計32店舗に配布した。

図8. コンドーム・アウトリーチ

- 仙台市内のMSM向け商業施設17店舗中15軒への定期的なアウトリーチ
- 秋田県内のMSM向け商業施設1店舗への郵送
- クラブイベント  
 (年2~3回 5/4、9/21)
- バレー大会でのアウトリーチ(年2回5/4、10/26)



4. MSMにおける行動科学調査及び介入評価研究  
 ゲイコミュニティに対するアンケート調査として、クラブイベントおよびバレーボール

大会と連携したwebアンケート調査(以下、GCQアンケート)を5月に実施し、161件の有効回答を得た。全国の同時期のアンケートの東北分回答者を含めると182件の有効回答の結果は付表4-7に示した。GCQアンケートでは、HIV検査の過去1年間の受検率が29.1%と、昨年度の35.3%より減少した(表3)。

表3 過去1年間のHIV抗体検査の受検率の推移

2009	2010	2011	2012	2013
29.1%	23.3%	29.9%	35.3%	29.1%

年代別にみると、25歳~39歳の年代では、30%以上が過去1年間にHIV検査を受検しているが、24歳以下の若年層が26.1%、40歳以上の中高年が19.6%と低くなっていた(表4)。

表4 年齢別に見た過去1年間のHIV抗体検査の受検率

24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上
26.1%	41.0%	31.8%	31.0%	19.6%

コンドームの常用率については、友達やセクフレ相手では2012年より使用割合が高くなったものの、その他では2012年度よりも使用割合が低くなった(表5)。

表5 相手別に見た過去6ヶ月のコンドームの常用率

相手	2012	2013
彼氏や恋人相手	48.9%	27.5%
友達やセクフレ相手	30.9%	55.3%
その場限りの相手	54.5%	35.3%

#### D. 考察

仙台市のHIV抗体検査受検者に占めるMSMの割合の増加は、MSM向けに行ってきた検査広報資材の作成・配布が成果を上げてきているものと考えられる。

しかしながら、40歳以上で過去1年間のHIV抗体検査の受検経験が低くなっている。東北

地域では「いきなりエイズ」の割合が高く(動向調査によれば2013年は9月の時点ですでに47%台の値を呈している)中でも中高年での割合が高くなっている。こうした現状を考えると、例年同様、種々の職種における研修会・研究活動を活発化し、HIV 感染症について意識を高め HIV 抗体検査実施件数を増やすとともに感染予防の啓発をすすめていく必要があり、特に中高年の MSM に向けた HIV 検査の受検促進の取り組みが必要と考えられる。

また、アンケートの結果を見ると、コンドームの使用率が低くなっていた。今年度行ったコンドーム使用を呼びかける資材の作成・配布の効果についての効果についてはまだ検証できていないが、コンドーム使用を広める取り組みを継続的に行っていく必要がある。

#### E. 結語

東北(仙台)のゲイコミュニティへ向けた啓発(企画、実施、評価)の体制作りが ZEL を中心とした活動により進みつつあり、保健所受検者の中で MSM の占める割合が増加してきている。コミュニティを中心とした啓発活動の結果と考えられる。今後も東北各地域の MSM との接触機会を増やし活動範囲を広げ、HIV 感染拡大に対する予防啓発活動を積極的に進めていく必要があり、協力可能な NGO と連携を強め、MSM におけるゲイコミュニティの理解を得つつ、より効果的なプログラムを開発・提供し、彼らの行動変容が可能になるようにしてゆく必要がある。そのためには戦略的に行政等の機関への提言を行い、より広い連携体制を継続的に構築してゆくことが今後も求められる。

#### F. 発表論文等

(○印は当研究班に関連した発表論文等)  
(学会発表)

1. 金子典代, 塩野徳史, 健山正男, 山本政弘, 鬼塚哲郎, 内海眞, 伊藤俊弘, 岩橋恒太, 市川誠一: MSM 向けインターネット横断調査

に続く追跡パネル調査法の妥当性の検討, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013

2. 佐藤麻希, 山本善彦, 阿部憲介, 水沼周市, 小山田光孝, 伊藤俊広: 災害時に対応した抗 HIV 薬供給と服薬支援策の検討-第 2 報 - ~震災・被災 HIV 患者アンケート調査から考える未来への備え~, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
3. 太田貴, 高橋幸二, 伊藤俊広, 塩野徳史: 東北地方の MSM を対象とした HIV 抗体検査の受検促進のための取り組み, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
4. 牧園裕也, 荒木順子, 石田敏彦, 太田貴, 金城健, 後藤大輔, 伊藤俊広, 内海眞, 鬼塚哲郎, 山本政弘, 健山正男, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一: MSM 向けエイズ対策としてのコミュニティセンターの意義と妥当性の検討, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
5. 重見麗, 服部純子, 蜂谷敦子, 瀧永博之, 渡邊大, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 南留美, 吉田繁, 森治代, 内田和江, 椎野禎一郎, 加藤真吾, 千葉仁志, 伊藤俊広, 佐藤武幸, 上田敦久, 石ヶ坪良明, 古賀一郎, 太田康男, 山元泰之, 福武勝幸, 古賀道子, 岩本愛吉, 西澤雅子, 岡慎一, 松田昌和, 林田庸総, 横幕能行, 上田幹夫, 大家正義, 田邊嘉也, 白阪琢磨, 小島洋子, 藤井輝久, 高田昇, 高田清式, 山本政弘, 松下修三, 藤田次郎, 健山正男, 杉浦互: 新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
6. 阿部憲介, 佐藤麻希, 小山田光孝, 塚本琢也, 伊藤ひとみ, 佐藤功, 伊藤俊広: 薬剤性腎機能障害により cART 変更となった一症例 薬剤変更のトリガーとしての腎障害, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
7. 山本善彦, 佐藤功, 伊藤俊広: 仙台医療セン

ターにおける HIV 感染患者の合併慢性感染症の検討, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013

8. 須貝恵, 吉田緑, センテノ田村恵子, 鈴木智子, 辻典子, 井内亜紀子, 濱本京子, 田邊嘉也, 伊藤俊広: 拠点病院診療案内からみる拠点病院の現状, 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
9. 伊藤俊広: HIV 感染症の見つけ方 インフルエンザ様症状や悪性リンパ腫等に潜む HIV を見逃さないために (シンポジウム 32 免疫機能低下時の感染管理), 第 27 回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013

付表1 HIV抗体検査を受検する人を対象とした質問紙調査(2013年1月-9月)の概要

宮城県内

	2011年			2012年												2013年									2011年	2012年	2013年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月								
参加施設数																6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		6	6			
検査件数																98	136	128	111	236	128	146	131	105	118	205	132	133	134		709	1,232
(再掲) 男性																73	93	76	72	145	89	89	87	70	81	137	77	81	80		459	791
女性																25	43	52	32	91	39	57	44	35	37	68	55	52	54		243	441
その他																0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		7	0
陽性判明数																0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0		0	4
(再掲) 男性																0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0		0	4
女性																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
その他																0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
陽性判明率																0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.76%	0.00%	0.00%	0.49%	1.52%	0.00%	0.00%		0.00%	0.32%
男性受検者中の陽性判明率																0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.15%	0.00%	0.00%	0.73%	2.60%	0.00%	0.00%		0.00%	0.51%
質問紙回収数																91	123	122	103	232	118	135	118	97	106	163	112	126	125		671	1,100
質問紙回収率																92.9%	90.4%	95.3%	92.8%	98.3%	92.2%	92.5%	90.1%	92.4%	89.8%	79.5%	84.8%	94.7%	93.3%		94.6%	89.3%



付表2 HIV抗体検査を受検する人を対象とした質問紙調査：MSM以外男性・女性・MSMの各群における比較

	MSM以外の男性 n=533		女性 n=378		MSM n=135		合計 n=1046		2検定 によるp値	
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？										
	再受検	211	39.6%	138	36.5%	87	64.4%	436	41.7%	<b>&lt; 0.01</b>
	初受検	322	60.4%	238	63.0%	48	35.6%	608	58.1%	
	無回答	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	2	0.2%	
年齢										
	24歳以下	91	17.1%	143	37.8%	33	24.4%	267	25.5%	<b>&lt; 0.01</b>
	25-34歳	236	44.3%	162	42.9%	50	37.0%	448	42.8%	
	35-44歳	123	23.1%	57	15.1%	34	25.2%	214	20.5%	
	45歳以上	78	14.6%	13	3.4%	17	12.6%	108	10.3%	
	無回答	5	0.9%	3	0.8%	1	0.7%	9	0.9%	
居住地										
	宮城県	505	94.7%	372	98.4%	127	94.1%	1004	96.0%	<b>0.01</b>
	それ以外の地域*	28	5.3%	6	1.6%	8	5.9%	42	4.0%	
居住形態										
	はい(1人暮らし)	232	43.5%	137	36.2%	66	48.9%	435	41.6%	<b>0.02</b>
	いいえ	301	56.5%	240	63.5%	68	50.4%	609	58.2%	
	無回答	0	0.0%	1	0.3%	1	0.7%	2	0.2%	
婚姻状況										
	結婚している	178	33.4%	72	19.0%	12	8.9%	262	25.0%	<b>&lt; 0.01</b>
	結婚していない	355	66.6%	306	81.0%	121	89.6%	782	74.8%	
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	2	0.2%	
健康保険加入状況										
	国民健康保険/職場の健康保険	477	89.5%	282	74.6%	113	83.7%	872	83.4%	<b>&lt; 0.01</b>
	被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	43	8.1%	83	22.0%	15	11.1%	141	13.5%	
	未加入*	13	2.4%	13	3.4%	7	5.2%	33	3.2%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*										
	ウィンドウビリオドについて	436	81.8%	303	80.2%	118	87.4%	857	81.9%	0.17
	偽陽性の可能性について	291	54.6%	178	47.1%	88	65.2%	557	53.3%	<b>0.01</b>
	偽陽性の場合、再検査の必要性がある	374	70.2%	253	66.9%	108	80.0%	735	70.3%	<b>0.01</b>
	重複感染について	387	72.6%	265	70.1%	90	66.7%	742	70.9%	0.66
	服薬治療について	423	79.4%	282	74.6%	109	80.7%	814	77.8%	0.37
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？										
	できない/できないと思う	270	50.7%	212	56.1%	100	74.1%	582	55.6%	<b>&lt; 0.01</b>
	わからない	97	18.2%	42	11.1%	12	8.9%	151	14.4%	
	できる/できると思う	165	31.0%	122	32.3%	22	16.3%	309	29.5%	
	無回答	1	0.2%	2	0.5%	1	0.7%	4	0.4%	
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？										
	できない/できないと思う	282	52.9%	191	50.5%	52	38.5%	525	50.2%	<b>&lt; 0.01</b>
	わからない	85	15.9%	40	10.6%	9	6.7%	134	12.8%	
	できる/できると思う	165	31.0%	146	38.6%	74	54.8%	385	36.8%	
	無回答	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.2%	
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？										
	知らない	296	55.5%	212	56.1%	62	45.9%	570	54.5%	0.20
	知っている	234	43.9%	165	43.7%	73	54.1%	472	45.1%	
	無回答	3	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	4	0.4%	
過去6ヶ月間に「HIVに感染しているかも…」と不安に感じたことはありましたか？										
	まったくなかった	170	31.9%	116	30.7%	24	17.8%	310	29.6%	0.07
	あまりなかった	160	30.0%	123	32.5%	55	40.7%	338	32.3%	
	時々あった	156	29.3%	113	29.9%	46	34.1%	315	30.1%	
	よくあった	44	8.3%	23	6.1%	10	7.4%	77	7.4%	
	無回答	3	0.6%	3	0.8%	0	0.0%	6	0.6%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？										
	ない*	271	50.8%	376	99.5%	116	85.9%	763	72.9%	<b>&lt; 0.01</b>
	ある	262	49.2%	2	0.5%	19	14.1%	283	27.1%	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？										
	ない*	532	99.8%	333	88.1%	120	88.9%	985	94.2%	<b>&lt; 0.01</b>
	ある	1	0.2%	45	11.9%	15	11.1%	61	5.8%	
あなたはこれまでにの性感染症にかかったことはありますか？										
	ない	426	79.9%	264	69.8%	110	81.5%	800	76.5%	<b>&lt; 0.01</b>
	ある	101	18.9%	112	29.6%	25	18.5%	238	22.8%	
	無回答	6	1.1%	2	0.5%	0	0.0%	8	0.8%	
広報資材の認知（複数回答）										
	各行政のホームページ	304	57.0%	199	52.6%	73	54.1%	576	55.1%	0.41
	各行政の紙資材・ポスター・広報誌等	108	20.3%	92	24.3%	43	31.9%	243	23.2%	<b>0.01</b>
	CBO活動や資材	7	1.3%	6	1.6%	55	40.7%	68	6.5%	<b>&lt; 0.01</b>
	HIVマップ	28	5.3%	18	4.8%	16	11.9%	62	5.9%	<b>0.01</b>
	HIV検査・相談マップ	113	21.2%	93	24.6%	36	26.7%	242	23.1%	0.28
	AC広告(エイズ予防財団)	40	7.5%	29	7.7%	15	11.1%	84	8.0%	0.37

\* 集計のさいに無回答を含んでいる。

付表3 HIV抗体検査を受検する人を対象とした質問紙調査：  
MSM受検者におけるCBO(やろっこ)の活動や資材の認知別分析

	CBO活動や資材の認知				合計 n=135		χ <sup>2</sup> 検定 によるp値
	なし n=80		あり n=55				
今回を除いて、これまでにHIV検査(エイズ検査)を受けたことがありますか？							
再受検	49	61.3%	38	69.1%	87	64.4%	0.35
初受検	31	38.8%	17	30.9%	48	35.6%	
無回答							
年齢							<b>0.03</b>
24歳以下	20	25.0%	13	23.6%	33	24.4%	
25-34歳	23	28.8%	27	49.1%	50	37.0%	
35-44歳	21	26.3%	13	23.6%	34	25.2%	
45歳以上	15	18.8%	2	3.6%	17	12.6%	
無回答	1	1.3%	0	0.0%	1	0.7%	
居住形態							0.16
はい(1人暮らし)	34	42.5%	32	58.2%	66	48.9%	
いいえ	45	56.3%	23	41.8%	68	50.4%	
無回答	1	1.3%	0	0.0%	1	0.7%	
婚姻状況							<b>&lt; 0.01</b>
結婚している	12	15.0%	0	0.0%	12	8.9%	
結婚していない	66	82.5%	55	100.0%	121	89.6%	
無回答	2	2.5%	0	0.0%	2	1.5%	
健康保険加入状況							0.08
国民健康保険/職場の健康保険	70	87.5%	43	78.2%	113	83.7%	
被扶養者の健康保険(家族・親族等の扶養)	5	6.3%	10	18.2%	15	11.1%	
未加入*1	5	6.3%	2	3.6%	7	5.2%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*1							0.46
ウィンドウペリオドについて	71	88.8%	47	85.5%	118	87.4%	
偽陽性の可能性について	48	60.0%	40	72.7%	88	65.2%	
偽陽性の場合、再検査の必要性がある	61	76.3%	47	85.5%	108	80.0%	
重複感染について	52	65.0%	38	69.1%	90	66.7%	
服薬治療について	63	78.8%	46	83.6%	109	80.7%	0.48
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？							0.58
できない/できないと思う	60	75.0%	40	72.7%	100	74.1%	
わからない	8	10.0%	4	7.3%	12	8.9%	
できる/できると思う	12	15.0%	10	18.2%	22	16.3%	
無回答	0	0.0%	1	1.8%	1	0.7%	
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？							<b>0.03</b>
できない/できないと思う	35	43.8%	17	30.9%	52	38.5%	
わからない	8	10.0%	1	1.8%	9	6.7%	
できる/できると思う	37	46.3%	37	67.3%	74	54.8%	
無回答							
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？							0.19
知らない	33	41.3%	29	52.7%	62	45.9%	
知っている	47	58.8%	26	47.3%	73	54.1%	
無回答							
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？							0.09
まったくなかった/あまりなかった	42	52.5%	37	67.3%	79	58.5%	
よくあった/時々あった	38	47.5%	18	32.7%	56	41.5%	
無回答							
あなたはこれまでに性感染症にかかったことはありますか？							0.41
ない	67	83.8%	43	78.2%	110	81.5%	
ある	13	16.3%	12	21.8%	25	18.5%	
無回答							
広報資材の認知(複数回答)							0.43
各行政のホームページ	41	51.3%	32	58.2%	73	54.1%	
各行政の紙資材-ポスター広報誌	25	31.3%	18	32.7%	43	31.9%	
HIVマップ	8	10.0%	8	14.5%	16	11.9%	
HIV検査・相談マップ	20	25.0%	16	29.1%	36	26.7%	
AC広告(エイズ予防財団)	5	6.3%	10	18.2%	15	11.1%	0.03
特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							0.58
常用	15	28.8%	10	23.8%	25	26.6%	
非常用	37	71.2%	32	76.2%	69	73.4%	
特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							0.88
常用	15	35.7%	14	34.1%	29	34.9%	
非常用	27	64.3%	27	65.9%	54	65.1%	
特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							0.39
常用	10	30.3%	1	14.3%	11	27.5%	
非常用	23	69.7%	6	85.7%	29	72.5%	
特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							0.82
常用	8	28.6%	2	33.3%	10	29.4%	
非常用	20	71.4%	4	66.7%	24	70.6%	

\*1 集計のさいに無回答を含んでいる。

\*2 過去6ヶ月間に膣性交または肛門性交を行ったと回答したもののみを分析対象としたため総数が異なる。

付表4 GCQ アンケート (2013): 年齢別の基礎属性

	年齢層5区分					合計 n=182	Pearson $\chi^2$
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上		
	n=46	n=39	n=22	n=29	n=46		
<b>性的指向</b>							
ゲイ(同性愛者)	34 73.9%	29 74.4%	18 81.8%	24 82.8%	38 82.6%	143 78.6%	0.30
バイ(両性愛者)	11 23.9%	10 25.6%	2 9.1%	4 13.8%	5 10.9%	32 17.6%	
その他	1 2.2%	0 0.0%	2 9.1%	1 3.4%	3 6.5%	7 3.8%	
<b>あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか？</b>							
一人暮らし	21 45.7%	15 38.5%	8 36.4%	10 34.5%	21 45.7%	75 41.2%	0.97
家族と同居	17 37.0%	16 41.0%	8 36.4%	12 41.4%	15 32.6%	68 37.4%	
家族以外と同居	8 17.4%	8 20.5%	6 27.3%	7 24.1%	10 21.7%	39 21.4%	
<b>あなたは現在、結婚していますか？</b>							
結婚している	0 0.0%	2 5.1%	0 0.0%	2 6.9%	7 15.2%	11 6.0%	0.02
結婚していない	46 100.0%	37 94.9%	22 100.0%	27 93.1%	39 84.8%	171 94.0%	
<b>あなたは現在、健康保険を持っていますか？</b>							
国民健康保険	12 26.1%	9 23.1%	11 50.0%	12 41.4%	23 50.0%	67 36.8%	0.00
職場の健康保険	19 41.3%	29 74.4%	10 45.5%	16 55.2%	23 50.0%	97 53.3%	
被扶養者の健康保険	12 26.1%	1 2.6%	1 4.5%	1 3.4%	0 0.0%	15 8.2%	
持っていない	3 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.6%	
<b>次の中でこれまでに利用したものはありますか？ (あてはまるものすべて)</b>							
ゲイバー	37 80.4%	37 94.9%	19 86.4%	28 96.6%	44 95.7%	165 90.7%	0.05
ゲイナイト	12 26.1%	26 66.7%	15 68.2%	19 65.5%	20 43.5%	92 50.5%	0.00
ゲイショップ	18 39.1%	24 61.5%	12 54.5%	23 79.3%	26 56.5%	103 56.6%	0.02
PC出会い系サイト	17 37.0%	17 43.6%	13 59.1%	18 62.1%	15 32.6%	80 44.0%	0.06
携帯出会い系サイト	23 50.0%	21 53.8%	15 68.2%	23 79.3%	23 50.0%	105 57.7%	0.06
mixiなどのSNS	27 58.7%	21 53.8%	12 54.5%	15 51.7%	16 34.8%	91 50.0%	0.19
エロ系SNS	10 21.7%	11 28.2%	7 31.8%	10 34.5%	15 32.6%	53 29.1%	0.74
スマートフォンのゲイ向けアプリ	27 58.7%	22 56.4%	14 63.6%	18 62.1%	14 30.4%	95 52.2%	0.02
ゲイ向けサークル	7 15.2%	3 7.7%	1 4.5%	5 17.2%	2 4.3%	18 9.9%	0.22
ゲイ向け合コン	8 17.4%	3 7.7%	6 27.3%	4 13.8%	2 4.3%	23 12.6%	0.06
ゲイの乱パ	2 4.3%	3 7.7%	1 4.5%	5 17.2%	4 8.7%	15 8.2%	0.35
有料のハッテン場	14 30.4%	13 33.3%	10 45.5%	18 62.1%	17 37.0%	72 39.6%	0.07
野外のハッテン場	5 10.9%	6 15.4%	5 22.7%	17 58.6%	14 30.4%	47 25.8%	0.00
ハッテン場で有名な公共施設	9 19.6%	8 20.5%	8 36.4%	17 58.6%	16 34.8%	58 31.9%	0.00
いずれも利用なし	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.1%	0.20

付表5 GCQ アンケート (2013): 年齢別の検査行動、HIVの身近さ、性感染症罹患、性行動

	年齢層5区分					合計 n=182	Pearson $\chi^2$
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上		
	n=46	n=39	n=22	n=29	n=46		
<b>これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？</b>							
ある	36	35	18	25	32	146	0.18
ない	10	4	4	4	14	36	
<b>これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？</b>							
ある	19	27	15	20	22	103	0.02
ない	27	12	7	9	24	79	
<b>過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？</b>							
ある	12	16	7	9	9	53	0.28
ない	34	23	15	20	37	129	
<b>過去1年の検査場所</b>							
保健所の通常検査	5	8	3	5	6	27	0.76
保健所の即日検査	8	9	3	2	1	23	0.04
医療センターなどの病院	2	0	2	1	1	6	0.41
クリニック・医院・診療所	1	0	0	2	2	5	0.39
その他	0	0	1	0	0	1	0.12
<b>あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？</b>							
いる	11	12	13	8	9	53	0.06
いると思う	6	10	1	5	4	26	
いないと思う	14	9	2	5	12	42	
いない	5	3	3	6	6	23	
わからない	10	5	3	5	15	38	
<b>過去6ヵ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	10	14	11	7	10	52	0.01
ない	16	19	4	9	24	72	
彼氏・恋人がいなかった	20	6	7	13	12	58	
<b>過去6ヵ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	20	21	14	14	16	85	0.19
ない	26	18	8	15	30	97	
<b>過去6ヵ月間に周囲の人とHIVやエイズについて話したことがありますか？</b>							
ある	21	22	15	15	18	91	0.19
ない	25	17	7	14	28	91	
<b>次の中で、これまでにかかったことがある性感染症はありますか？(あてはまるものすべて)</b>							
梅毒	2	1	1	6	7	17	0.03
A型肝炎	0	2	0	0	1	3	0.33
B型肝炎	2	3	2	2	7	16	0.45
クラミジア	0	2	3	0	5	10	0.05
尖圭コンジローマ	1	1	2	1	3	8	0.63
淋病	0	2	0	3	3	8	0.19
HIV感染症	2	0	3	0	0	5	0.01
赤痢アメーバ	0	0	0	0	4	4	0.02
毛じらみ	4	9	7	11	15	46	0.03
性器ヘルペス	0	0	1	4	1	6	0.01
その他	0	0	0	0	2	2	0.20
いずれもなし	39	23	12	15	19	108	0.00
<b>これまでに男性とセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	40	39	20	29	41	169	0.07
ない	6	0	2	0	5	13	
<b>これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	37	36	19	27	36	155	0.23
ない	9	3	3	2	10	27	

付表 6 GCQ アンケート (2013) : 年齢別の性行動

	年齢層5区分					合計	Pearson $\chi^2$
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上		
<b>過去6ヶ月間のアナルセックス経験</b>							
過去6ヶ月間あり	32 86.5%	29 80.6%	16 84.2%	22 81.5%	28 77.8%	127 81.9%	0.90
過去6ヶ月間なし	5 13.5%	7 19.4%	3 15.8%	5 18.5%	8 22.2%	28 18.1%	
<b>合計</b>	<b>46 100.0%</b>	<b>39 100.0%</b>	<b>22 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>28 100.0%</b>	<b>127 100.0%</b>	
<b>コンドーム使用状況</b>							
非常用	21 65.6%	16 55.2%	11 68.8%	13 59.1%	20 71.4%	81 63.8%	0.72
常用	11 34.4%	13 44.8%	5 31.3%	9 40.9%	8 28.6%	46 36.2%	
<b>合計</b>	<b>32 100.0%</b>	<b>29 100.0%</b>	<b>16 100.0%</b>	<b>22 100.0%</b>	<b>28 100.0%</b>	<b>127 100.0%</b>	
<b>彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況</b>							
非常用	12 75.0%	7 50.0%	9 75.0%	9 69.2%	13 92.9%	50 72.5%	0.16
常用	4 25.0%	7 50.0%	3 25.0%	4 30.8%	1 7.1%	19 27.5%	
<b>合計</b>	<b>16 100.0%</b>	<b>14 100.0%</b>	<b>12 100.0%</b>	<b>13 100.0%</b>	<b>14 100.0%</b>	<b>69 100.0%</b>	
<b>友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況</b>							
非常用	7 50.0%	5 45.5%	2 66.7%	2 28.6%	5 41.7%	21 44.7%	0.82
常用	7 50.0%	6 54.5%	1 33.3%	5 71.4%	7 58.3%	26 55.3%	
<b>合計</b>	<b>14 100.0%</b>	<b>11 100.0%</b>	<b>3 100.0%</b>	<b>7 100.0%</b>	<b>12 100.0%</b>	<b>47 100.0%</b>	
<b>その場限りの相手とのコンドーム使用状況</b>							
非常用	6 60.0%	5 83.3%	1 50.0%	5 71.4%	5 55.6%	22 64.7%	0.80
常用	4 40.0%	1 16.7%	1 50.0%	2 28.6%	4 44.4%	12 35.3%	
<b>合計</b>	<b>10 100.0%</b>	<b>6 100.0%</b>	<b>2 100.0%</b>	<b>7 100.0%</b>	<b>9 100.0%</b>	<b>34 100.0%</b>	

付表7 GCQ アンケート(2013):年齢別の性行動、薬物使用、金銭を介した性行動、資材認知

	年齢層5区分					合計 n=182	Pearson $\chi^2$
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上		
	n=46	n=39	n=22	n=29	n=46		
<b>過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？</b>							
口内射精したことがある	13 28.3%	15 38.5%	6 27.3%	11 37.9%	9 19.6%	54 29.7%	0.01
口内射精されたことがある	11 23.9%	4 10.3%	1 4.5%	4 13.8%	10 21.7%	30 16.5%	
どちらもある	11 23.9%	0 0.0%	5 22.7%	6 20.7%	4 8.7%	26 14.3%	
どちらもない	11 23.9%	20 51.3%	10 45.5%	8 27.6%	23 50.0%	72 39.6%	
<b>過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験</b>							
いずれもなし	41 89.1%	35 89.7%	19 86.4%	21 72.4%	34 73.9%	150 82.4%	0.13
パイアグラのみ併用	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%	3 6.5%	6 3.3%	
他の薬物併用経験あり	5 10.9%	4 10.3%	3 13.6%	5 17.2%	9 19.6%	26 14.3%	
<b>過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験(再掲)</b>							
いずれもなし	41 89.1%	35 89.7%	19 86.4%	21 72.4%	34 73.9%	150 82.4%	0.12
他の薬物併用経験あり	5 10.9%	4 10.3%	3 13.6%	8 27.6%	12 26.1%	32 17.6%	
<b>過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？</b>							
ある	19 41.3%	16 41.0%	5 22.7%	11 37.9%	10 21.7%	61 33.5%	0.16
ない	27 58.7%	23 59.0%	17 77.3%	18 62.1%	36 78.3%	121 66.5%	
<b>過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	4 8.7%	5 12.8%	0 0.0%	1 3.4%	2 4.3%	12 6.6%	0.27
ない	42 91.3%	34 87.2%	22 100.0%	28 96.6%	44 95.7%	170 93.4%	
<b>過去6ヶ月間に相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？</b>							
ある	9 19.6%	5 12.8%	1 4.5%	1 3.4%	1 2.2%	17 9.3%	0.03
ない	37 80.4%	34 87.2%	21 95.5%	28 96.6%	45 97.8%	165 90.7%	
<b>仙台のコミュニティセンター ZEL(ゼル)に行ったことがありますか？</b>							
行ったことがある	11 23.9%	13 33.3%	7 31.8%	7 24.1%	8 17.4%	46 25.3%	0.13
知っているが行ったことない	9 19.6%	13 33.3%	5 22.7%	12 41.4%	21 45.7%	60 33.0%	
知らない	26 56.5%	13 33.3%	10 45.5%	10 34.5%	17 37.0%	76 41.8%	
<b>やろっこが配布しているコミュニティペーパーZEL を読んだことがありますか？</b>							
読んだことがある	19 41.3%	24 61.5%	9 40.9%	17 58.6%	19 41.3%	88 48.4%	0.04
知っているが読んだことない	2 4.3%	3 7.7%	4 18.2%	3 10.3%	11 23.9%	23 12.6%	
知らない	25 54.3%	12 30.8%	9 40.9%	9 31.0%	16 34.8%	71 39.0%	
<b>やろっこが配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？</b>							
過去1年間に持ち帰った	17 37.0%	15 38.5%	6 27.3%	18 62.1%	23 50.0%	79 43.4%	0.15
1年以上前に持ち帰った	1 2.2%	5 12.8%	2 9.1%	1 3.4%	3 6.5%	12 6.6%	
知っているが持ち帰ったことない	6 13.0%	8 20.5%	5 22.7%	1 3.4%	5 10.9%	25 13.7%	
知らない	22 47.8%	11 28.2%	9 40.9%	9 31.0%	15 32.6%	66 36.3%	
<b>Ⅱあなたは今年仙台で開催された「イニミニマニモ」に行ったことがありますか？</b>							
行ったことがある	5 10.9%	9 23.1%	6 27.3%	7 24.1%	10 21.7%	37 20.3%	0.36
知っているが行ったことない	10 21.7%	10 25.6%	5 22.7%	10 34.5%	7 15.2%	42 23.1%	
知らない	31 67.4%	20 51.3%	11 50.0%	12 41.4%	29 63.0%	103 56.6%	